

園芸部

色素原料用の紫甘藷  
のご案内

J A福島さくら管内、旧J Aふたば地域は東日本大震災に伴う原発事故により、一時ほぼ全域が避難指示地域となりました。その後一部の町村は避難指示が解除され、地域住民がふる里に戻り営農再開の動きが出てきています。J A全農福島では旧J Aふたば管内の営農再開支援の一環とし、農家が安心して生産・販売できる農産物として紫甘藷栽培を提案し、試験的に栽培を実施してきました。

この紫甘藷は色素原料用甘藷として利用することが出来ます。抽出された植物由来の色素はお菓子やジュース、漬物などの食品の色付けや衣類などを染色する際に使用することが可能であり、その名前のとおり紫甘藷の断面は濃い紫色となっており、そこから抽出された色素は淡い赤色系の色となります。



収穫の様子



収穫された紫甘藷

れた甘藷を比較すると、生産者の栽培経験や気候的な差もあってか現時点では収量は九州産が上回っています。色素量や内容成分については本場の九州産と比較して遜色ない結果となりました。

今年度は川内村と浪江町で栽培されており、11月に入って収穫作業・出荷の為の洗浄作業が行われました。現在栽培されている紫甘藷の品種は苗の供給可能本数が少ないこともあり、栽培面積はまだ少ない状況ですが、今後ふたば地域で避難指示解除が進み、農家の皆さんが戻った際に安心して営農再開することが出来るよう、引き続き取り組みを進めてまいりたいと考えております。

米穀部

水稻種子種子場のご紹介と  
平成29年播種用種子について

現在、県内各地の種子場（たねば）では平成29年播種用水稻種子の年明け出荷に向けて、最終調製作業が行われています。

今回は種子場についてのご紹介と平成29年播種用種子注文状況をお伝えします。

水稻種子は毎年12月までに翌々年播種数量の契約をしていただきます。その契約に基づき県内8カ所ある種子場と調整し翌年の作付面積・採種数量を決定します。

優良種子の生産にあたっては一般圃場とは違い数々の苦労があります。約300名の元気で種子生産に誇りを持った生産者の方々が県内の供給を担っています。

●優良種子になるためには、  
●年3回の圃場審査で合格すること  
●「ばか苗」との戦い。採種圃場から500メートルの範囲内ではか苗の発生が見られたら不合格となるため生産者、関係者一丸となり早急な抜き取り等を行います。近年、飼料用米からの「ばか苗」発生が多発しています。

採種圃場周辺で飼料用米作付けされる方は種子消毒の徹底にご協力下さい。



厳しい圃場審査が行われます  
(J Aふくしま未来 国見町管内)



出番待ちの水稲種子  
(J A福島さくら郡山種子センター)

●倒伏した稲は不合格となるので倒伏した範囲は刈り分け作業を行います。

●農産物検査、発芽試験(発芽率90%以上)、放射性物質検査をクリアすることが不可欠となります。

このように手間をかけ大切に育てられた種子が間もなく配付されます。県内産種子の28年産買入予定数量は2,130,720kg(106,536袋)で10月末現在の注文数量は、県内県外合わせて1,922,420kg(96,121袋)で未消毒種子は、まだ余裕があります。注文忘れがないかご確認下さい。

すでに完売している品種もありますが在庫については管内J Aへお問い合わせ下さい。

12月にお届けする材料を使用したレシピです

大根のひき肉あんかけ



- 材料は2人分が基準になっております。
- 盛付例はイメージです。
- ※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材料

- ・麓山高原豚ひき肉…150g
  - ・大根…1/2本
  - ・砂糖・しょうゆ…各大さじ1/2
  - ・万能ねぎ…2本
- B
- ・生姜みじん切り…1片分
  - ・酒…大さじ1
  - ・塩・しょうゆ…各小さじ1/3
- C
- ・片栗粉…小さじ1
  - ・だし汁…1/2カップ
  - ・サラダ油…適量
  - ・片栗粉…適量

作り方

- ①大根は長さを半分に切り、四つ割りにする。熱湯で約15分茹で、ザルにあけて湯を切る。Aを混ぜて塗す。
- ②鍋にひき肉、Bを入れて混ぜ、火にかける。混ぜながら炒め、ばらばらになったらCでだし溶き片栗粉を添える。ひと煮立ちさせてとろみがついたら火を止める。
- ③フライパンにサラダ油を5mm深さ入れて熱し、①の大根の水気をキッチンペーパーでしっかりふき取って片栗粉を薄く付けて入れる。全体にこんがり焼き色がつくまで揚げ焼きし、取り出して油を切る。
- ④器に③を盛り、②をかける。万能ねぎを薄切りにしてのせる。

今月の主な行事予定

|        |     |                       |
|--------|-----|-----------------------|
| 12月1日  | 園芸部 | あんぽ柿出発式               |
| 12月2日  | 米穀部 | JAグループ福島「新たな米戦略」推進委員会 |
| 12月5日  | 米穀部 | 米穀事業推進委員会             |
| 12月8日  | 管理部 | 営農事業推進委員会             |
| 12月15日 | 管理部 | 経済事業推進委員会             |

ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分  
放・送・予・定

- 12月5日 燃料部 LPガスで快適生活
- 12月6日 米穀部 営農相談室
- 12月12日 生産資材部 農業機械センターの取り組みについて
- 12月13日 園芸部 営農相談室(養液土耕栽培について)
- 12月19日 JAライフクリエイト福島 クミアイ家庭菜について
- 12月26日 園芸部 直販事業について



東北地方の長期予報



＜予想される向こう1か月の天候＞

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、高い確率50%です。

＜気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞

11月26日～12月25日

|            |    |    |    |
|------------|----|----|----|
| 【気温】東北地方   | 30 | 30 | 40 |
| 【降水量】日本海側  | 30 | 30 | 40 |
| 太平洋側       | 20 | 40 | 40 |
| 【日照時間】日本海側 | 30 | 40 | 30 |
| 太平洋側       | 40 | 30 | 30 |

＜気温経過の各階級の確率(%)＞

|               |    |    |    |
|---------------|----|----|----|
| 11月26日～12月2日  | 40 | 40 | 20 |
| 12月3日～12月9日   | 10 | 40 | 50 |
| 12月10日～12月23日 | 30 | 40 | 30 |

凡例： 低い(少ない) 平年並 高い(多い)  
(仙台管区气象台 発表)

編集後記

早いもので2016年もひと月を残すのみとなりました。「師走」の語源には諸説あるようですが、年末にかけて何かと忙しくなる季節ですね。

私事ですが、2016年は人事異動により、広報担当として多くの取材先で農家さんとお逢いしました。皆さんそれぞれが情熱と誇りをもって農業に取り組んでおり、刺激を頂くことばかりでした。農家さんのその真摯な姿勢を、少しでも多く消費者へ知ってもらい、販売促進に繋がりたいと実感した一年でした。

さて、迎える2017年はどんな一年となるのでしょうか。ここ数年、異常気象の年が続いています。お逢いした農家さんの一人ひとりの顔を思い浮かべ、大きな災害のない、豊作の一年となることを願うばかりです。